

地域とのコミュニケーション

「写ルンです」循環生産工場の見学



足柄工場では、世界初の“循環生産工場”である「写ルンです」の生産工場が稼働しています。ここでは「写ルンです」に使用する部品、原材料のリユース・リサイクルを進めており、廃棄物の発生を極限まで抑えた循環生産のモデル工場として内外の注目を集めています。

この生産システムを多くの方々に理解していただくため工場では見学者を受け入れており、オープン以来毎月1,000名以上の方が見学されています。

南足柄小学校は、5年生の社会科授業に「写ルンです」循環生産工場の見学を組み入れています。未来を担う小学生が循環生産の持つ意義を学んでいます。また南足柄市教育委員会作成の社会科の副読本にも、「写ルンです」のリユース・リサイクルが取り上げられ、環境教育のお役に立っています。

南足柄市との環境保全遵守協定締結

足柄工場では、1998年12月に南足柄市と環境保全遵守協定を締結しましたが、これに続き、1999年5月には当社と関連の深い4社と市が環境保全遵守協定を締結しました。この4社とは、当社グループ会社の富士ゼロックス(株)竹松事業所、富士機器工業(株)、協力会社であるパナック工業(株)と南開工業(株)です。「行政と企業が一体となって環境保全活動を推進し、地域が将来にわたり自然と調和のとれた発展をめざす」という目的に富士フィルムグループとして寄与していくことを公に宣言したものです。



右より、当社足柄工場 竹林工場長、南足柄市 鈴木市長、富士ゼロックス(株)竹松事業所 岡本事業所長、パナック工業(株)中村社長、南開工業(株)中村社長、富士機器工業(株)水谷専務

“公開モニター”による排出水水質データの公開



吉田南工場では、工場からの排出水の水質情報を、公道に面して設置した“公開モニター”により地元の方々へ公開しています。

公開モニターでは「pH」「濁度」「COD」のデータがリアルタイムで表示され、また元気に泳ぐ鯉の姿も確認できます。

「地域の清澄な環境を維持しつつ、町の発展に寄与することは、当工場の理念であります。」との言葉とともに「地元の方々へ約束した、法規制値よりも厳しい水質協定値」を明示し、実際にこの値が守られていることを示すためにそのリアルタイムデータを公開しています。

市民との対話

小田原工場では、1998年11月に開催された“第19回快適環境シンポジウム”で環境庁政務次官、神奈川県知事の開会挨拶の後に行なわれた「快適環境の創造に向けてのパートナーシップ」をテーマとしたパネルディスカッションに、塩谷工場長が参加しました。

市民代表、行政代表の人達とともに、企業代表として参加した塩谷工場長は「きれいな水ときれいな空気」を守っていくための当社及び当工場の環境への取組を紹介。また、情報公開、市民参加のあり方について活発な討論がなされました。最後に工場長は「地域住民の方に“小田原には富士フィルムあり”と言ってもらえる工場にしていきたい」と締めくくりました。



清掃ボランティア活動



富士宮工場では、毎年6月と10月に地元住民の方々との協同作業で「清水川」のゴミ・缶・雑草などの清掃美化を行っています。またこれ以外にも、毎年6月の“環境月間”には、昼休みを利用して、全従業員参加で工場周辺の清掃美化活動を行っています。

これらの清掃活動は、地域との共生・融和をめざした活動の一つとして実施しています。